

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。



2024年  
1月15日  
発行  
第262号

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区芝大門2-7-9 錦島ビル2F  
TEL (03) 3433-3028  
FAX (03) 3432-4560  
Eメール shinro@shinro.org  
ホームページ http://www.shinro.org/  
発行責任者 粕谷 幸司

## 二〇二三年度 第三回中央委員会

要求書の基本賃金引上げ決定、追加提案の検討



十二月九日(土)、十日(日)両日、参集並びにWebによるハイブリッド会議において、全国より中央委員およびオブザーバー七十九名の参加のもと、二〇二三年度第三回中央委員会が第一富士ホテル(名古屋市内)において開催された。

九日(土)午前には役員総会、週休二日制推進委員会が開催された。第三回中央委員会は、出席中央委員二十七名、委任状一通で成立が確認され、議長に梶谷充氏(三原日赤)、副議長に荻野裕太氏(名一)が選出された。書記に水崎江利氏(浜松日赤)が選出され、佐藤中央執行委員長の挨拶のあと審議に入った。

「内閣府発表令和五年十一月の月例経済報告では、『景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。』と、先行きについては、『雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くとが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しする可能性がある。』と報告



た付加価値の適正分配、働き方も含めた「取引の適正化」に取り組む。』とし、経団連は、連合が「二〇二四年春季生活闘争方針基本構想」(十月十九日公表)で、来年度の参加を強く呼びかけていくとした。

このように、二〇二〇年から始まったコロナ禍による経済の低迷が進行しているが、新型コロナウイルス感染症が徐々に終息の様相を呈してきた中、今年五月八日に行動制限が解除され、また、マスクの着用が個人判断になったことで人気が戻り、それに連動して経済も少しずつ回復傾向に転じてきている一方、ニュース等ではパレスチナ・ハマスとイスラエルの紛争に隠れてしまっているが、ロシアによるウクライナ侵襲は現在進行形であり、燃料・原料の高騰による物価の高騰が続いており、暮らしに不安要素が見られ、依然我々組合員職員の生活は、苦しい状態が続いておられます。

### 中央執行委員長 新年挨拶



新年あけましておめでとうございます。

令和六年の新年を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中に賜りました日本赤十字新労働組合連合会の諸活動に対する組合員の皆様のご支援ご協力に心より御礼申し上げます。さて、内閣府発表月例経済報告では、

### 新年挨拶

「景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。』と、先行きについては、『雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くとが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。』と報告

しているなか、日本赤十字新労働組合連合会の令和五年年度賃金交渉は、要求額定昇込み三・〇%(二万五千五百円)と第六十二回定期全労連大会にて可決され本社と交渉に入りました。本部は、先年度より、定期昇給込みでは、平均で二・三七%、一人当たり九千三百三十八円の改定、実施時期については今年度中の改定は確保し、令和六年三月一日から実施することとし、遡及はしない考えを示してき

のペースアップ交渉をしていなかったので、遡及は切り離して考えるものではないと強く訴え、ギリギリまで鋭意交渉を進めてまいりましたが、状況の打開は図れませんでした。第十三回労働交渉にて改めて日赤新労の考えを訴え、さらに、この数年は年度未改定が続いている事への遺憾の意を申し伝えたいと思っております。昨年、ロシアによるウクライナ侵襲が続いており、さらにはイスラエルとパレスチナ・ハマスの紛争が勃発し、世界情勢は様々な影響を受けております。現在も、原材料の高騰が続き、円安も解消されず物価高騰の波は収まる気配さえ感じ

た付加価値の適正分配、働き方も含めた「取引の適正化」に取り組む。』とし、経団連は、連合が「二〇二四年春季生活闘争方針基本構想」(十月十九日公表)で、来年度の参加を強く呼びかけていくとした。

【一面から続き】

二、二〇二四年度運動方針案について

各ブロック会議等で検討された修正箇所について審議がおこなわれ、一部修正の後、賛成多数で承認された。なお、細かな修正は本部一任で定期大会までに修正することが了承された。

三、二〇二四年度要求書案について

基本賃金の引上げについては、賛成多数で定昇込み五・〇％（一万九千三百十一円）と決定された。

また、本部本社交渉である二〇二四年度期末手当の基本額法人業種運動部については「四・五か月十一律六万円」で交渉していくことと決議された。

四、二〇二四年度スローガン及び闘争方針案について

スローガン及び闘争方針については変更なしで承認された。

五、二〇二四年度予算案について

決算ができていないため、詳細な説明できないが、来年度は各会議の参加形態を参集のみに戻した予算組みをおこなう予定であることが報告された。

六、二〇二四年度本部役員について

第六十三回定期全国大会の日程と大会役員の確認がおこなわれた。開催日時：二〇二四年二月十八日（日）十三時から十七時まで

十九日（月）九時から十七時まで

二十日（火）九時から十二時まで

開催場所：新横浜フジビューホテル スパ&レジデンス（神奈川県横浜市港北区）

●週休二日制推進委員会報告について

●その他の審議事項

●二〇二四年度要求書への追加提案等について

●二〇二四年度本部役員について

●二〇二四年度本部役員について

●二〇二四年度本部役員について

二〇二三年度

血液センター部会開催



表に歯科衛生士四大卒の俸給の記載がないため、要求書のV、俸給表および初任給の決定基準の改正について（一）に「歯科衛生士の四大卒の俸給表を追加すること」の追加提案がおこなわれ、承認された。

十月二十八日（土）、二〇二三年度血液センター部会を岡山県岡山市にて開催しました。座長には水畑太輔氏（岡山血セ）、書記を山田裕貴氏（愛知血セ）、六単組十七名の出席のもと、血液センターの諸問題を中心に話し合いがなされました。

移動採血業務の問題点として、受付終了間際までの呼び込みにより採血終了が遅くなり時間が発生して

いること、出る業務が申請できる時間外を越えている

北から南から 第四・五ブロック 初心者研修会

三原赤十字病院従業員組合 組合長 米田 晋司

各単組で情報交換をおこな

また、この労使協議会は、

施設の垣根を越えて懇親を

足利赤十字病院職員組合より結成七〇周年記念式典開催のご案内について

二〇二三年十一月十八日 一日目は研修会および懇親会をおこないました。

二日目は宮島にて、もみじ饅頭作り体験と宮島散策をしました。

二〇二四年度本部役員

足利赤十字病院職員組合より結成七〇周年記念式典開催のご案内について



皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。（執行部一同）



もみじ饅頭手づくり体験中！

第63回定期全国大会案内
2024年2月18日(日)~20日(火)
新横浜フジビューホテル
スパ&レジデンス
神奈川県横浜市港北区新横浜
2-3-1
☎045-473-0021代